



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

6組 24番 名前 鈴木心結

【映画】

コスタリカの奇跡

【レビュー】「コスタリカの奇跡」を視聴して

映画「コスタリカの奇跡」

＜概要＞ 軍隊なしで国の平和を保ってきた数少ない国の一つであるコスタリカ。そのコスタリカの軍隊廃止の歴史的経緯、積極的平和国家のつくり方を様々な関係者を通して描いている。

●1948年、フィゲレス(当時の大統領)が常備軍を廃止。
軍事金 → 教育費、医療費、福祉 「人に投資する」

実際にお金の使い方を変わると識字率の上昇、幸福度ランキング上位などになっていることから、国民のために正しい使い方をしていると思う。
第二次世界大戦後、世界にまだ緊張が残る中で、このように考えたこと自体、素晴らしいことだと感じた。

★軍隊の本当の必要性★

✕ コスタリカの場合
過去に実際、アメリカに軍をせまらされたことや戦争の危機に立たされたこともあったが、国際法により解決してきた。
→ 小国が軍をもっても規模が小さすぎて非合理、無意味だ。
・ GDP 8% が教育費に
→ 「人々の基本的ニーズを満たすこと」が最優先。

○ 例えば、私たちの国、日本の自衛隊。世界の国軍としては、稀な戦争をしなくて済む軍である。
・ 平和維持活動として、他国の援助
・ 災害時の復興支援
・ 急患の輸送(山、離島) など...
これらの場面で人々の役に立っている方向性を誤まらなければ軍隊はあってよいと考える。

コスタリカの例を見て軍隊を廃止することは自国だけでなく隣国、他国の危険も防ぐことができるなと思いました。実際には65年間、戦争の危機もありませんが国際法により話し合いで解決し戦争に発展させなかったコスタリカ人の考えに感心しました。